



# 祝 辞

徳島県知事 飯 泉 嘉 門

新年、明けましておめでとうございます。

皆様には日頃より、良質な住宅・宅地の供給はもとより、県政各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、昨年、5月に中国四川省で発生しました大地震を始め、国内でも岩手・宮城内陸地震など数多くの地震が発生しております。

本県におきましても、来るべき南海地震への備えが重要であり、県政の最重要課題の一つとして「安全・安心とくしま」の実現のため、「南海地震発生時の死者ゼロ」を目指す「とくしまー0（ゼロ）作戦」を積極的に展開してきたところであります。

こうした中、貴協会との間で締結しました「大規模災害時における民間賃貸借住宅の媒介に関する協定書」は、被災者の住まいを速やかに確保し、いち早い生活の再建を支援するという重要な役割を担うものであり、県としても、大変心強く思っております。

また、昨年は、米国の「サブプライムローン問題」に端を発した「未曾有の経済危機」が、直ちに私たちの生活を直撃することを、まざまざと感じさせられた一年でありました。

一方、昨年は本県にとって記念すべき年でもありました。まず、「神戸淡路鳴門自動車道」全通10周年を迎え、それを記念して「とくしまマラソン」を開催し、全国から4千名を超えるランナーにご参加いただきました。また、我が国最大の地域情報化の祭典「地域ICT未来フェスタ2008inとくしま」では、延べ10万人もの方々に参加いただき、徳島ならではの取り組みや新たな可能性を「ひかり王国とくしま」の名とともに、全国に向け大

いに発信することができました。

さて、今年の干支は「己丑（つちのと・うし）」。「己」は「紀」に通じ、「もつれた糸を真っ直ぐにする、規律を正すこと」を表わしており、一方、「丑」は「生まれて初めて手をのぼそうとする姿」から、「始動」「掴む」を意味しており、己丑の年には、「筋道を通して実行していけば、これまでに生まれた創造と発展の芽が力強く伸び始める」とされております。

今年は、県政の運営指針「オンリーワン徳島行動計画（第二幕）」が、平成22年度までの計画期間の折り返しを迎えます。全世界が厳しい社会経済情勢の下、今こそ「ピンチをチャンスへ」の発想と時代を先取りする「進取の精神」で、これまで育ててきた芽をさらに伸ばし、「徳島飛躍」の着実な前進を図って参りたいと考えております。

また、昨年末の「与党税制改正大綱」におきまして、本県が提言し、創設されました「住宅耐震改修促進税制」の適用期間が平成25年まで延長されました。

今後とも、「徳島発の提言をジャパンスタードへ」の取り組みに一層工夫を凝らし、本県が先頭に立ち、スピード感を持って政策提言を行うことを始め、県民の皆様に「誇りと豊かさを実感していただける21世紀の徳島づくり」を加速して参りますので、本県の宅地建物取引業界のリーダーである皆様におかれましては、なお一層の理解、協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、社団法人徳島県宅地建物取引業協会の今後益々のご発展と、本年が皆様にとって少しでも多くの希望が見出せる年となりますことを、心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。